

国立大学法人新潟大学の学長に求められる人物像（資質・能力等）

令和4年11月21日

令和7年1月21日改定

国立大学法人新潟大学

学長選考・監察会議

新潟大学は、かつて「越（高志）」と呼ばれた地に育まれた敬虔質実の伝統と、幕末の開港5港の一つとして世界に開かれた海港都市（新潟市）の進取の精神を受け継ぎ、「自律と創生」の理念のもとに、教育、研究、社会貢献という見地から、地域のみならず世界の発展に資する知の拠点としての役割を果たしてきた。

今まで本学が果たしてきた役割を未来に向けて更に発展させていくために、本学の学長に求められる人物像（資質・能力等）を以下のとおり定める。

○学長に求められる人物像（資質・能力等）

- 1 人格が高潔で、学識が優れ、本学のミッション及びビジョンの実現に向けて、社会環境の変化に対応し、具体的な取組を推進する創造力、決断力、実行力を有すること。
- 2 多様な背景を持つ人材の登用を促進し、本学の教育研究の効果を最大化するとともに、分野横断型の教育研究の推進など、日本海側屈指の教育研究拠点としての魅力を構築・発信する能力を有すること。
- 3 学内外の多様なステークホルダーとの良好な信頼関係を構築するコミュニケーション力を有し、グローバルな視野を持ち国際社会とのつながりを強化できる能力を有すること。
- 4 公平性と透明性を重視し、強靱なガバナンス体制を構築・維持するリーダーシップ、財政基盤の強化や学内資源の適正な配分・有効活用を管理遂行する経営能力、様々な事態を想定したリスクマネジメント力を有すること。
- 5 本学の持続的な発展のため、長期的視野に基づく包括的な組織づくりと人材育成のビジョンを有し、人材の多様性を確保し、公平かつ透明性のある方法で次世代のリーダーシップ人材を育成する能力を有すること。